

あさかの歴史



産業文化センター



溝沼老人福祉センター
みぞぬま児童館



朝霞駅前出張所
市民活動支援ステーション



障害者ふれあいセンター



ほんちょう児童館

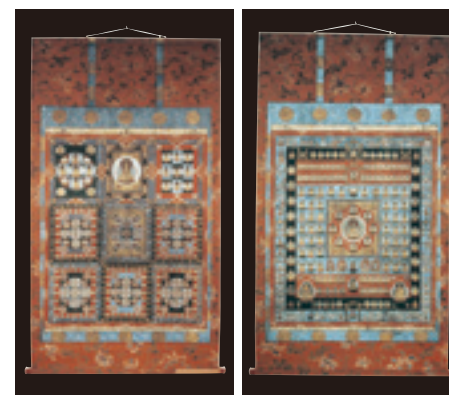
平成9年 1997年
人口:111,789人
世帯:46,385世帯
(平成9年1月1日現在)



令和6年 2024年
人口:144,964人
世帯:70,127世帯
(令和6年1月1日現在)

朝霞市のあゆみ	
平成9年	2月 博物館開館 12月 斎場開設
平成10年	1月 市民会館「ゆめばれす」新館開所 10月 4市消防が広域化「朝霞地区一部事務組合 埼玉県南西部消防本部」発足
平成11年	6月 産業文化センター開所
平成12年	5月 総合福祉センター「はあとぴあ」開所 7月 リサイクルプラザ「エコネットあさか」開所
平成13年	11月 旧高橋家住宅が国の重要文化財に指定
平成15年	7月 ファミリー・サポート・センターの活動開始
平成16年	4月 溝沼老人福祉センター、みぞぬま児童館開所
平成19年	5月 朝霞駅前出張所開所 市民活動支援ステーション開所
平成20年	4月 朝霞駅東口広場完成(広場完成に合わせて北口から名称変更) 6月 東武東上線・地下鉄副都心線相互乗り入れ開始
平成21年	11月 膝折市民センター、ひざおり児童館開所
平成24年	11月 基地跡地暫定利用広場「朝霞の森」開所
平成25年	1月 それいゆぷらざ(女性センター)を開所
平成28年	4月 障害者ふれあいセンター開所 朝霞市日本手話言語条例施行 12月 健康づくり・スポーツ都市を宣言
平成29年	3月 市制施行50周年を迎える。ブランドタグライン「むさしのフロントあさか」、市キャラクター「ぼぼたん」誕生
令和元年	10月 ほんちょう児童館開所
令和2年	2月 シンボルロード供用開始、観音通線全線開通
令和3年	7月 東京2020オリンピック・パラリンピックの射撃会場となり、聖火リレーも開催
令和5年	3月 東武東上線朝霞駅が急行停車駅となる 10月 こどもまんなか応援サポーターを宣言

歴史・文化財 ～いにしえ色に染まる、ときめきの時～



①市指定有形文化財 絹本着色両界曼荼羅



④市指定天然記念物 湧水代官水



⑤市指定有形文化財 奥住家文書



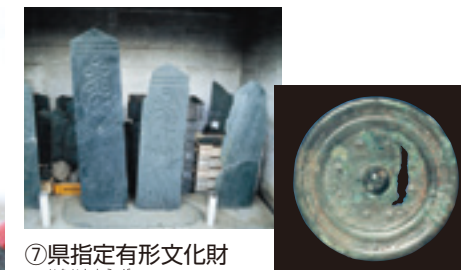
②重要文化財 旧高橋家住宅



⑥市指定無形文化財 溝沼獅子舞



③県指定史跡 柊塚古墳



⑦県指定有形文化財 板石塔婆

⑧市指定有形文化財 一夜塚古墳出土遺物



⑨市指定有形文化財 町名改称許可書

①市指定有形文化財 絹本着色両界曼荼羅

宮戸の宝蔵寺に伝わる仏教絵画で、室町時代～江戸時代の制作と推定されています。胎蔵界曼荼羅と金剛界曼荼羅の二幅に、さまざまな仏や菩薩が極彩色で描かれ、周囲の表具は描き表装で仕上げられています。

②重要文化財 旧高橋家住宅

根岸台にある18世紀前半(江戸時代中期)の建築と推定される農家建築で、土壁に丈夫な格子窓を作り、部屋境に押板を造るなど、中世以来の古風な建築の特徴を残しています。建造物と畑を屋敷林と雑木林が取り囲み、武蔵野の農家景観の特徴を伝えていることから、敷地も重要文化財に指定されています。

③県指定史跡 柊塚古墳

6世紀前半の築造と推定される、全長72m、墳長66m、高さ8.5mの前方後円墳です。後円部の墳頂で主体部(埋葬施設)2基が確認され、当時の家屋を模した家形埴輪などが出土しています。柊塚古墳歴史広場として整備して公開しています。

④市指定天然記念物 湧水代官水

地域で「代官水」と呼ばれる自然湧水で、古くから灌漑用水などに利用されてきました。武蔵野台地の縁辺に湧き出す湧水で、朝霞市をとりまく自然環境の特徴を示すものの1つです。周囲の斜面林には、貴重な動植物の生息が見られます。

⑤市指定有形文化財 奥住家文書

膝折地区で江戸時代から伸銅業を営んできた奥住家に伝わっていた文書です。当時、黒目川を利用して盛んに行われていた水車稼働や伸銅業に関するものがほとんどで、特に伸銅創業に関する資料は他に例をみない貴重なものです。

⑥市指定無形文化財 溝沼獅子舞

春と秋の年2回舞われる獅子舞で、大獅子、中獅子、女獅子の3匹の獅子が、地域の安全や悪疫退散を願って舞います。江戸時代初期から伝わると言われて、現在は主に溝沼の氷川神社で行われています。溝沼獅子舞保存会のみなさんにより保存・継承されています。

⑦県指定有形文化財 板石塔婆

正安3年(1301年)の銘がある、非常に珍しい双式の板石塔婆です。梵字で表現された不動曼荼羅と五輪塔を刻んだ美しい仕上がりとなっています。同じ場所から他にも数百点の板石塔婆が見つかっています。

⑧市指定有形文化財 一夜塚古墳出土遺物

昭和18年(1943年)に朝霞第二小学校の敷地拡張に伴い削平された一夜塚古墳から出土した銅鏡、武具、馬具、埴輪などの遺物です。朝霞市の古墳時代を代表する遺物であり、埼玉県の古墳時代を語る上でも貴重な資料です。

⑨市指定有形文化財 町名改称許可書

昭和7年(1932年)に膝折村が町制施行する際に、当地へ移転計画のあった東京ゴルフ倶楽部の名誉総裁 朝香宮鳩彦王の名前にちなんだ町名とすることを照会した際の回答文書です。新町名を「朝霞」とすることを許可したもので、朝霞市の名称の起源となる記念すべき資料です。